

Q1. なぜ、長年親しまれてきた図書室を廃止するのですか。

A.

北京における邦人数や日系企業数の減少に伴い、会費収入が減少しており、北京日本俱楽部の活動を支えてきた中国日本商会の支援も縮小が見込まれております。このため、北京日本俱楽部の運営が厳しい状況です。

理事会で1年以上議論した結果、会員の皆様が集い、繋がり、支え合う「場」である北京日本俱楽部の存続を図るため、図書館を2026年3月末に廃止することとしました。

Q2. 図書室は北京日本俱楽部にとって重要な存在だったのではないですか。

A.

図書館が、皆様に親しまれ、文化的な憩いの場であったことを十分に認識した上での決断であります。この一年間、あらゆる方面からどうにか存続させる手立てを模索して参りました。たくさんの方々のお知恵をお借りして検討を重ねた結果としての苦渋であることを何卒、ご理解いただければ幸いです。

Q3. 会費を払っているのに、サービスが減るのは納得できません。

A.

北京日本俱楽部の運営が厳しい状況です。しかしながら、海外という環境において築かれる人と人とのネットワークや、相互扶助・情報共有の関係性は、今後ますます重要な価値を持つものと考えます。

このため、会員の皆様が集い、繋がり、支え合う「場」である北京日本俱楽部の存続を図るための見直しです。ご理解いただければ幸いです。

Q4. 図書室がなくなると、文化的な活動はなくなってしまうのですか。

A.

図書館を廃止した後、会員の皆様が集い、交流できるスペースについては、北京の企業・団体の皆様のご協力を得ながら、引き続き確保していく方針です。

蔵書については、北京日本俱楽部とシナジーの高い学校・団体・施設等への寄贈や連携を通じ、可能な限り会員の皆様がご利用できるように検討を進めております。詳細が決まり次第、改めてご案内申し上げます。

Q5. 現在借りている本はどうすればよいですか。

A.

図書室廃止に伴い、現在お借り入れ中の書籍につきましては、【2月末目途】でのご返却をお願いしております。

詳細につきましては、別途ご案内いたしますので、ご協力をお願いいたします。

Q6. 春の交流会は、もう開催されないのでしょうか。

A.

「春の交流会」については、従来と同様に、参加費無料、北京日本俱楽部が全額負担で実施することが難しい状況です。このため、会員の皆様に必要最小限のご負担をいただく形で、代替イベントを検討いたします。なお、2026年度については、図書館の廃止に伴う手続き等があるため、代替イベントは総会とは切り離して開催する予定です。代替イベントについて詳細が決まりましたら、改めてご案内いたします。

—
Q7. 今後、イベントは減っていくのでしょうか。

A.

今後のイベントは、ご参加される皆様に必要最小限のご負担をお願いすることで、北京日本俱楽部を存続させながら、会員の皆様が交流できる機会としていく方針です。イベントの内容や実施方法については、会員の皆様のご意見を伺いながら検討を進めます。

—
Q8. 北京日本俱楽部は、今後も活動を続けていくのですか。

A.

海外という環境において築かれる人と人とのネットワークや、相互扶助・情報共有の関係性は、今後ますます重要な価値を持つものと考えます。

このため、会員の皆様が集い、繋がり、支え合う「場」である北京日本俱楽部の存続を図り、活動を続けます。

—
Q9. 図書室は一時的な休止ではなく、完全に廃止なのですか。

A.

はい、現時点では 2026 年 3 月末をもって、図書室を廃止します。再開を前提とした休止ではありません。

—
Q10. 将来的に図書室が復活する可能性はありますか。

A.

現時点で復活をお約束できる状況ではありません。

—
Q11. 寄贈された本はどこへ行くのですか。

A.

蔵書については、当会とシナジーの高い学校・団体・施設等への寄贈を優先的に検討しています。

—
Q12. 古本市は実施されますか。

A.

古本市については、実施の可否も含めて検討中です。

—
Q13. 図書室廃止によって、会費は安くなりますか。

A.

現時点で会費の変更は予定しておりません。

会費のあり方については、今後の運営体制やサービス内容を踏まえ、中長期的な視点で検討してまいります。

—
Q14. 会費を支払うメリットは今後どうなりますか。

A.

海外という環境において築かれる人と人とのネットワークや、相互扶助・情報共有の関係性は、今後ますます重要な価値を持つものと考えます。もちろん従来のような、楽しいイベント企画もより充実させてまいりますので、形は変わりますが、会員であることの意義を感じていただけるよう取り組みます。

—
Q15. イベントが有料になると、参加しづらくなりませんか。

A.

ご負担については、必要最小限にとどめることを基本としています。

参加しやすさにも配慮しながら、内容とのバランスを考えた形で企画してまいります。

—
Q16. 参加費はどのくらいを想定していますか。

A.

現時点では未定です。

—
Q17. 総会は誰でも参加できますか。

A.

総会は会員の皆様が参加可能です。但し、会議となりますため、お子様の参加は不可です。

※但し、会則第二章第六条にある通り、準会員の方には議決権はございません。

—
Q18. 理事会での議論内容はどこまで公開されますか。

A.

会員の皆様に影響のある事項については、今後も可能な限り丁寧にご説明してまいります。

—
Q19. もっと早く知らせることはできなかったのですか。

A.

検討段階での情報発信は、かえって混乱を招く可能性があるため、一定の整理がついた段階でのご案内となりました。また、各方面との交渉や調整に時間を要しました為、発表から閉館までの時間がタイトになってしまった点は誠に申し訳ございません。3月末まで、引き続き図書室にて様々な企画をお届けできるよう、検討しております。何卒、ご理解いただけますと幸いです。

—
Q20. 今回の見直しは、今後も続くのでしょうか。

A.

環境変化に応じた見直しは、今後も必要に応じて行う可能性があります。

図書室廃止・イベント運営見直しに関する想定 Q&A

Q21. 会員の意見はどのように反映されますか。

A.

イベント後のアンケートやご意見の受付を通じて、今後の運営に反映していきます。

Q22. 社会貢献活動は今後もありますか。

A.

形は変わる可能性がありますが今後も実施を検討していきます。

Q23. 北京日本倶楽部として一番大切にしていることは何ですか。

A.

海外という環境において築かれる人と人とのネットワークや、相互扶助・情報共有の関係性は、今後ますます重要な価値を持つものと考えます。

このため、会員の皆様が集い、繋がり、支え合う「場」を維持することが重要です。

今回の見直しも、その目的を達成するための判断です。

Q24. 最後に、会員へのメッセージをお願いします。

A.

限られた資源の中で知恵と工夫を重ね、会員同士が集い、つながり、支え合える「場」を維持・発展させることに、引き続き注力してまいります。

この変化の時期において、何よりも会員の皆様のご理解と継続的なご参加が、北京日本倶楽部を支える力となります。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

以上